



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月25日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社両毛システムズ

コード番号 9691 URL <http://www.ryomo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋山 力

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括部長 (氏名) 上山 和則 (TEL) 0277 - 53 - 3131

四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	5,885	1.9	59	△56.4	77	△48.3	48	△46.2
28年3月期第2四半期	5,777	9.2	135	17.6	149	10.1	89	12.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 45百万円(△22.7%) 28年3月期第2四半期 58百万円(△30.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	13.75	—
28年3月期第2四半期	25.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	11,465	6,765	59.0
28年3月期	11,148	6,779	60.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 6,765百万円 28年3月期 6,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,100	0.4	600	2.1	625	1.7	415	10.2	118.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	3,510,000株	28年3月期	3,510,000株	
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	11,035株	28年3月期	11,035株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	3,498,965株	28年3月期2Q	3,498,965株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中ではありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替相場は円高基調が長期化しており、輸出型企業の業績悪化懸念が生じております。一方で、企業の設備投資には持ち直しの動きに足跡みが見られますが、企業収益は好調に推移しており、景気は弱含みしながらも、緩やかな回復基調が続いていると見受けられます。しかしながら、為替相場の不安定化、円高基調の長期化による企業収益の悪化懸念や、米大統領選挙後の米国景気や金融政策の動向等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

情報サービス産業におきましては、ICT^{*1}システムの利用形態がオンプレミス型^{*2}からクラウド型^{*3}へ移行が進むなか、ネットワークセキュリティや情報漏洩防止などICTに関わるセキュリティソリューション需要の高まり、電力市場の市場開放による電力関連製品受注の活発化等、商談環境は堅調に推移しております。

※1 ICT (Information and Communication Technology) : 情報・通信に関する技術の総称

※2 オンプレミス型 : 自社にシステム環境を構築して利用する形態

※3 クラウド型 : インターネットを介し情報サービス企業が提供するサービスを利用する形態

このような状況のなか、当社及び連結子会社(以下、当社グループ)では、公共分野及び民間分野とも引き続き受注拡大ならびに製品・サービス強化に取り組んでまいりました。第2四半期は、ソフトウェア開発・システム販売分野においては、民間分野は堅調に推移しておりますが、公共分野は主に「G. B e _U(ジービーユー)」(次世代電子行政システム)の前期大型案件の反動減により、低調に推移しました。一方で、機器販売が大きく伸びました。

その結果、当第2四半期連結累計期間においては、前期比増収減益、具体的には、売上高は5,885百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は59百万円(前年同期比56.4%減)、経常利益は77百万円(前年同期比48.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は48百万円(前年同期比46.2%減)となりました。

なお、利益面においては、前期比半減となっておりますが、平成28年5月10日に開示した業績予想、売上高5,500百万円、営業利益50百万円、経常利益65百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益40百万円に対して、売上高7.0%増、営業利益18.4%増、経常利益19.0%増、親会社株主に帰属する四半期純利益20.2%増と、それぞれ上回りました。

当第2四半期連結累計期間

(%表示は、第2四半期業績予想に対する増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期累計実績	5,885	7.0	59	18.4	77	19.0	48	20.2
第2四半期業績予想	5,500	—	50	—	65	—	40	—

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

(公共事業セグメント)

公共事業セグメントでは、競争入札の浸透による低価格化が進み、競争環境は厳しさが増すなか、ソフトウェア開発・システム販売分野では、自治体向け主力製品の「G. B e _U(ジービーユー)」(次世代電子行政システム)が、当期は第3四半期以降に稼働を予定していることもあり、前期と比較して減少となりました。一方で、機器販売が堅調に推移しました。

その結果、売上高は2,923百万円(前年同期比3.0%減)、セグメント利益は259百万円(前年同期比14.5%減)となりました。

(社会・産業事業セグメント)

社会・産業事業セグメントでは、ソフトウェア開発・システム販売分野が堅調に推移しました。具体的には、ソフトウェア開発におけるコンサルティングサービスが伸長しました。各事業者向けパッケージシステム、具体的には、ガス事業者向け「G I O S(ジーオス)」、印刷業向け「P r i n T a c t(プリンタクト)」等も堅調に推移しました。一方で、調剤薬局向けパッケージシステム「a n y s q u a r e p o l a r i s(エニースクエア ポラリス)」は販売計画を下回り、低調に推移しました。また、電力事業者向けパッケージシステムの品質・機能向上に取り組みました。

その結果、売上高は2,962百万円(前年同期比7.2%増)、セグメント利益は331百万円(前年同期比14.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態に関する分析

(資産・負債・純資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は11,465百万円(前連結会計年度末11,148百万円)となり、317百万円増加しました。流動資産は7,721百万円となり5百万円減少し、固定資産は3,744百万円となり322百万円増加しました。

流動資産の減少要因は、たな卸資産が508百万円増加しましたが、現金及び預金が114百万円、受取手形及び売掛金が220百万円、リース投資資産が167百万円それぞれ減少したこと等によるものです。固定資産の増加要因は、ソフトウェア仮勘定が319百万円増加したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は4,700百万円(前連結会計年度末4,368百万円)となり、331百万円増加しました。流動負債は3,225百万円となり446百万円増加し、固定負債は1,474百万円となり、115百万円減少しました。

流動負債の増加要因は、買掛金が174百万円、受注損失引当金が328百万円増加したこと等によるものです。固定負債の減少要因は、リース債務が89百万円減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は6,765百万円(前連結会計年度末6,779百万円)となり、14百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が11百万円減少したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ214百万円減少し1,487百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、199百万円(前年同期は312百万円)となりました。この主な要因は、たな卸資産の増加額508百万円の資金の減少はありましたが、無形固定資産償却費111百万円、受注損失引当金の増加額328百万円、売上債権の減少額127百万円の資金の増加があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、455百万円(前年同期は25百万円)となりました。この主な要因は、無形固定資産の取得による支出367百万円の資金の減少があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、41百万円(前年同期は187百万円の使用)となりました。この主な要因は、配当金の支払額59百万円の資金の減少はありましたが、セール・アンド・リースバックによる収入91百万円の資金の増加があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの通期の連結業績予想につきましては、円高基調の長期化による企業収益の悪化懸念等、景気の先行きは不透明な状況が続いておりますが、公共分野における群馬県庁との商談や群馬県警察本部との新規取引、また、「G. B e_U(ジービーユー)」(次世代電子行政システム)の新規商談活発化、さらに民間分野では、ソフトウェア開発におけるコンサルティングサービスなど、商談環境は堅調に推移しております。

以上のことから、平成28年5月10日に開示した内容に、現時点で修正はありません。

通期

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	銭 円
平成29年3月期連結業績予想	13,100	0.4	600	2.1	625	1.7	415	10.2	118.61
平成28年3月期連結実績	13,043	—	587	—	614	—	376	—	107.64

なお、上記連結業績予想は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいておりますが、予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における内外状況の変化により、実際の業績数値が予想の数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,262,347	1,147,570
受取手形及び売掛金	2,828,346	2,607,698
リース投資資産	1,857,022	1,689,815
有価証券	100,000	-
たな卸資産	473,217	981,257
その他	1,206,176	1,295,015
貸倒引当金	△259	△243
流動資産合計	7,726,851	7,721,114
固定資産		
有形固定資産	1,116,025	1,172,688
無形固定資産		
ソフトウェア	223,587	171,507
ソフトウェア仮勘定	167,283	486,530
その他	261,564	244,187
無形固定資産合計	652,436	902,226
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	1,017,850	1,052,735
その他	635,476	617,071
貸倒引当金	△5	△4
投資その他の資産合計	1,653,321	1,669,802
固定資産合計	3,421,783	3,744,716
資産合計	11,148,634	11,465,831
負債の部		
流動負債		
買掛金	482,160	656,667
短期借入金	170,000	250,000
未払法人税等	55,628	40,672
賞与引当金	543,158	556,148
役員賞与引当金	3,900	5,583
受注損失引当金	140,076	468,616
その他	1,384,038	1,248,124
流動負債合計	2,778,962	3,225,813
固定負債		
リース債務	1,519,222	1,429,851
その他	70,552	44,565
固定負債合計	1,589,774	1,474,417
負債合計	4,368,737	4,700,230

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,966,900	1,966,900
資本剰余金	2,453,650	2,453,650
利益剰余金	2,323,359	2,311,974
自己株式	△8,513	△8,513
株主資本合計	6,735,396	6,724,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,187	17,693
退職給付に係る調整累計額	16,312	23,895
その他の包括利益累計額合計	44,500	41,589
純資産合計	6,779,896	6,765,601
負債純資産合計	11,148,634	11,465,831

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	5,777,159	5,885,542
売上原価	4,758,093	4,922,747
売上総利益	1,019,066	962,794
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	350,785	359,464
賞与引当金繰入額	120,096	124,842
役員賞与引当金繰入額	-	5,585
退職給付費用	5,144	19,807
その他	407,205	393,907
販売費及び一般管理費合計	883,232	903,607
営業利益	135,834	59,186
営業外収益		
受取利息	4,228	3,306
受取配当金	6,031	5,272
有価証券売却益	-	1,169
受取賃貸料	3,425	3,544
転リース差益	9,652	9,020
その他	2,767	2,830
営業外収益合計	26,105	25,144
営業外費用		
支払利息	4,924	4,324
有価証券売却損	4,823	-
賃貸収入原価	558	552
その他	2,047	2,124
営業外費用合計	12,354	7,002
経常利益	149,585	77,329
特別利益		
固定資産売却益	9	-
特別利益合計	9	-
特別損失		
固定資産売却損	124	-
固定資産除却損	63	19
特別損失合計	188	19
税金等調整前四半期純利益	149,407	77,309
法人税等	59,973	29,211
四半期純利益	89,433	48,097
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	89,433	48,097

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	89,433	48,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,933	△10,494
退職給付に係る調整額	△13,021	7,582
その他の包括利益合計	△30,955	△2,911
四半期包括利益	58,477	45,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,477	45,186
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	149,407	77,309
減価償却費	83,077	103,547
無形固定資産償却費	193,467	111,060
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△80,613	△23,981
賞与引当金の増減額 (△は減少)	143,999	12,990
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	1,683
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	6,817	328,540
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20	△16
受取利息及び受取配当金	△10,260	△8,579
有価証券売却損益 (△は益)	4,823	△1,169
支払利息	4,924	4,324
為替差損益 (△は益)	△255	-
固定資産売却損益 (△は益)	114	-
固定資産除却損	63	19
売上債権の増減額 (△は増加)	△106,492	127,567
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△150,915	△508,040
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	119,999	203,905
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,963	132,526
未払費用の増減額 (△は減少)	22,491	6,674
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	35,650	△135,345
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△81,540	△193,393
小計	323,774	239,622
利息及び配当金の受取額	10,283	8,604
利息の支払額	△4,734	△4,239
法人税等の支払額	△16,730	△44,256
営業活動によるキャッシュ・フロー	312,593	199,730
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△170,000	△170,000
定期預金の払戻による収入	170,000	170,000
投資有価証券の取得による支出	△102	△5,924
投資有価証券の売却による収入	-	9,700
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,348	△18,962
有形固定資産の取得による支出	△10,742	△72,799
無形固定資産の取得による支出	△12,615	△367,317
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,809	△455,302
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	68,000	130,000
長期借入金の返済による支出	△140,600	△50,000
リース債務の返済による支出	△63,066	△70,734
セール・アンド・リースバックによる収入	-	91,827
配当金の支払額	△52,172	△59,751
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187,839	41,341
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	98,944	△214,230
現金及び現金同等物の期首残高	1,507,990	1,701,693
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,606,934	1,487,463

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,014,954	2,762,205	5,777,159	—	5,777,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,014,954	2,762,205	5,777,159	—	5,777,159
セグメント利益	303,679	387,458	691,138	△555,304	135,834

(注) 1. セグメント利益の調整額△555,304千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△87,462千円及び全社費用△467,842千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,923,347	2,962,194	5,885,542	—	5,885,542
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,923,347	2,962,194	5,885,542	—	5,885,542
セグメント利益	259,573	331,030	590,603	△531,417	59,186

(注) 1. セグメント利益の調整額△531,417千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△76,151千円及び全社費用△455,265千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。